

SEMANARIO DE SÃO PAULO

Num. 236

2-Julho-1926

聖州新報

Poetro Kowayama
Redactor
do Semanario de São Paulo
Caixa 58 - BAURÚ
Estado de São Paulo - BRASIL
社主兼編輯人 香山六郎

八十五万圓 貸出に直面して

八拾五萬圓の救済貸付金 中の横暴呼ばははは請願團から見れば大部分が、ノロエステ請願團の手全くと片腹痛い次第であらう。を離れ、パウル領事館の権能に移り、近々具体化されてノロ線殖民に貸出の手配りが着手さるゝ様に運んで居るとは、本紙先週号に報じた通りである。

願みれば昨年七月三日と十日の兩回、上塚氏が本紙上に廣告して在聖各線殖民と呼應し、救済貸付資金請願を祖國に致さんと叫んでから丁度一年が経過する、當時各線の殖民者等は、前年來の經濟好景氣に酔ひ心醒めず、上塚氏の此の先驅的呼喚に對し其鳴を與ふる者少く、殆んど没交渉の心裡を以つて迎へ風馬牛を以て賢しとなし、斯うした請願は成就せぬものと高を括つて居り、興味も昂奮も起さず、僅かに日伯子が反對意見を發表し、くさし、救済を拒んだに引かへ愈よ金が出たとなつた昨今、各線殖民者の狼狽は加減はどうだ。

宛然飢餓たる狼が一塊の生肉を前にしての威嚇み合ひの如く、利己の根生から角突合せて金員分配を正常化しようとの醜論となり、或は敵本主義に出でたり、果は浮薄な思想問題の擔き出しとなつたりして、心情の陋劣さを暴露して居る迷論妄語、マアよくも斯う變質異常人格者の夥しいものと呆れるはあながち吾人のみであるまい。

そんなら該救済資金が欲しいものなら、何故今少し早く、少くも半年前に該金にあやかる思慮周密の詮索をせなかつたものであらうか、物事を育てる母性愛の乏しき冷たき人々よと云ひたくなる。請願の爲の調書作製の折は對岸の火災視して居た人々が、金が出たとなつての今日、その金の専有

の難局突破には尺寸定木で律し難き心盡しの壯なるものがあらう。そこにはやがて觸るべき在伯各邦人殖民の低利事業資金問題の終りもつなぐも控へて居る。

チフス撲滅諸研究

チフス菌の抵抗力は先天的に差異がある為消毒法を一樣に定める事は出来ない。

この中で日本に特有なのは脚氣と脚氣様症候、及びマラリアスとある、脚氣は西洋に記事なく、歐米各國皆ペリペリと云ふものが無い、神經炎多發神經炎といふのが、或る症候に至つては神經炎と大差ないものであるが、之が脚氣か神經炎か分らぬ所である、心臓の脚氣の形は神經炎としてあり、之は脚氣及脚氣様症候との二に大別すべきである、マラリアスは經過中に熱が下つても物を見ると吐き氣があつてそれで死亡するの

である、之は若い女に多くて食へても吐き死する不思議な病氣である、之等の事は近來の書籍には記載してなすが、七八十年前の外國の書物にある。

之等脚氣及かつ氣様症候マラリアス等が、日本に多く見られるのは何故かといふに、第一チフス菌の毒素による關係で、重いのに来る。第二には體質で内分泌等の關係もあつて、年頃の者に多い。第三には食物の關係である。日本では重湯、おまじり、牛乳、卵等同じようなもので永い間養はれる。石し重湯ばかりで行くと部分的饑餓を起し、ビタミンの缺乏許りもなく、塩類も蛋白質も減少するの

が重なる原因であらう。西洋ではチフス菌のそれから来るのである、マラリアスも之れから来るのである、コロリチフス菌は澤山食べさせ、コロリチフス菌計取らせると云ふ論者もあれ

Dr. Alipio

A. Rodrigues Alves, 5-85 tel 148
Baurú
臨床手術 産科
解剖室の設備あり
サンタカタリザ外科主任
アリピオ ドス
サントス

Dr. J. de Cunto Junior
Praça Ruy Barbosa—Tel. 222
Baurú
聖市サンタカタリザ外科主任、婦人外科醫
首府サンタカタリザ婦人科兼産科主任、
自由血 沙病院兼主治醫
パウル、サンタカタリザ外婦人科主任
ドトール、ジ、デ、クント、
ジュニオール
外科手術、婦人神經衰弱症、泌尿器症
右専門のみの診察を受諾す
診察時間 午後一時より 五時迄

S. Masaki
Compra Café, Igodão e Cerees
Escritorio
Em frente a Estação Promissão
Caixa postal, 16
Noroeste
珈琲 棉花
間崎三三三
雜穀仲買

御宿 小川
ロイエリセシコ 市聖
番六拾街トタルフ
六七四四 ルラトシセ 話電
館主 小川源右衛門

Dr. J. de Cunto Junior

聖市サンタカタリザ外科主任、婦人外科醫
首府サンタカタリザ婦人科兼産科主任、
自由血 沙病院兼主治醫
パウル、サンタカタリザ外婦人科主任
ドトール、ジ、デ、クント、
ジュニオール
外科手術、婦人神經衰弱症、泌尿器症
右専門のみの診察を受諾す
診察時間 午後一時より 五時迄

S. Masaki
Compra Café, Igodão e Cerees
Escritorio
Em frente a Estação Promissão
Caixa postal, 16
Noroeste
珈琲 棉花
間崎三三三
雜穀仲買

測量 製圖
凡 土木業 一切迅速
精確 責任を以て御相
談に應じ候
ノロエステ線リンス市
郵局 一七九
全線 郵便
土木技師 野村秀吉
プロミンへ移轉致しました
が郵便は何れへも御使用願
望す

OFFICINA MECHANICA
ANTONIO S. TANAKA
各種自動車に應ず
一般修繕に應ず
パウル市バスタ街
6-20 郵局九六 田中庄助

S. Masaki

Compra Café, Igodão e Cerees
Escritorio
Em frente a Estação Promissão
Caixa postal, 16
Noroeste
珈琲 棉花
間崎三三三
雜穀仲買

S. Masaki
Compra Café, Igodão e Cerees
Escritorio
Em frente a Estação Promissão
Caixa postal, 16
Noroeste
珈琲 棉花
間崎三三三
雜穀仲買

S. Masaki
Compra Café, Igodão e Cerees
Escritorio
Em frente a Estação Promissão
Caixa postal, 16
Noroeste
珈琲 棉花
間崎三三三
雜穀仲買

S. Masaki
Compra Café, Igodão e Cerees
Escritorio
Em frente a Estação Promissão
Caixa postal, 16
Noroeste
珈琲 棉花
間崎三三三
雜穀仲買

S. Masaki

Compra Café, Igodão e Cerees
Escritorio
Em frente a Estação Promissão
Caixa postal, 16
Noroeste
珈琲 棉花
間崎三三三
雜穀仲買

S. Masaki
Compra Café, Igodão e Cerees
Escritorio
Em frente a Estação Promissão
Caixa postal, 16
Noroeste
珈琲 棉花
間崎三三三
雜穀仲買

S. Masaki
Compra Café, Igodão e Cerees
Escritorio
Em frente a Estação Promissão
Caixa postal, 16
Noroeste
珈琲 棉花
間崎三三三
雜穀仲買

S. Masaki
Compra Café, Igodão e Cerees
Escritorio
Em frente a Estação Promissão
Caixa postal, 16
Noroeste
珈琲 棉花
間崎三三三
雜穀仲買



電報欄

● 獨逸洪水の損害額

ベルリン(二十五日電) 既報したオドレ河の大洪水はその被害夥しく、アルトマール地方一帯の損害額は七千万マルクと計上されてゐる。

● 地中海を中心に大地震

ローマ(二十七日電) 去月二十六日午後九時より十時の間に、ナポリとアベッツォ、パトリに大地震あり、ナポリの測候所が倒壊した。

● ルーマニアの洪水

ブカレスト(二十七日電) ユジョクナ、ジラウは大水害を蒙り六十の死者、三百の傷者を出し二千軒を流失した。

● 佛國の新聞紙價一定

パリ(二十八日電) 佛蘭西では全國の新聞紙價を一部二十五センチイモに一定し七月一日より實施した。

● メキシコの大洪水

メキシコ(二十八日電) ノボ、リオ州の一帯は近來降雨甚だしく大洪水し、爲めに人家六万軒が流失し、農作物は全滅の慘状を呈してゐる。尚リオ州の一部は沈溺した。

● 上海の女工二万二千の同盟罷業

上海(二十八日電) 上海の通信によれば、同市の一組思案投資中とか、糸工場の女工二万四千人は賃銀増額問題の折衝にて資本家側との妥協を見ず、遂に同盟罷業を起し工場内十ヶ所の機械を破壊し、強硬な態度を示してゐる。

● 佛國の貿易額

本年一月以降五月までの對伯亞兩國の貿易輸出入額は左の如し(單位フランコ)

輸入	七〇〇、六二六
輸出	三二一、六五六
對伯貿易	五二〇、九三一
輸入	三二九、一三四
輸出	五〇〇、五一四
對亞貿易	一九二、七三三

在伯邦人運動の偉人健健ちやんも債鬼には勝てず参つてしまつた、今頃はサン子の川決勝點近くで青鬼と馳せ子の最中だろ、海興イグアツベ事務所では三百トリス大穴の埋合せに白鳥タンが

ラヂオ

在伯邦人運動の偉人健健ちやんも債鬼には勝てず参つてしまつた、今頃はサン子の川決勝點近くで青鬼と馳せ子の最中だろ、海興イグアツベ事務所では三百トリス大穴の埋合せに白鳥タンが

Casa Anse Armazem e Machina de Beneficiar Café

カフエ精選所

安瀬商店

北西線 ビリギキ植民地

Agua Limpia Biriguy

Hotel Japonês

日本旅館

北西線ペンナ驛カフエランジヤ町

川尾利市

旭

室の清潔、御食事は改良致しまして

日本料理、伯國料理隔日

秋田 久米 三郎

電話 セントラル 四一〇二

移轉廣告

北西線ペンナ驛

青木 何人

北西線ペンナ驛マタラジ代理店に勤務して居りましたが、今般ペンナ驛同支店となりましてから、御用の御方は頭書の處へ御一報を願ひます。

吉野旅館

雜穀 珈琲 棉 仲買商 右田辰彦

新流行反物、内外化粧品、日本小間物類、文具類、食料品、種子物、書籍、金物類

アルマゼン ヤナギ兄弟商店

北西線プロミツン町 郵函十八

加旅鞍

常盤

R. C. Sarzedas, 41 - S. Paulo



K三共商會

前田吉太郎

ルア、セナドール、ダタス五三

電話 セントラル 三〇五三

カイシヤボスタミル 三二二八

ダイヤほりに

流浪の旅 (二十)

豊富發揚

それで、一名の大尉が一隊の兵とつては、この際そのショボ眼が唯を率いて、カスミンガに出張し、獨りの知己の親しきで懐かしかつモリベツキにノルテンガ殺の加害者。者卅六名の引渡しを交渉したが、まともならず、

モリベツキを狙撃したカルバリオは、モリベツキの怨恨憤怒をかき、カルバリオ一家四十名餘の血は、サンタ、リタ、アラグアイ川に流し込まれるの虐殺事件が生れた。

身をついて僅かに逃れたドットル、カルバリオは、革命殘黨の保護するところとなり、革命殘黨はモリベツキ征伐にと剣戟をひらめかし、カスミンガへと押し出した。斯うしたゴタゴタから、ダイヤ掘りの涼しい平和な世界はメチャクチャに、寂寥となつた。第一、労働者に食料を供給して呉れるトロツキ隊が、闘争者に徴せられてしまつた爲め、ダイヤ掘りにグズグズして居れば、人間の乾ばしにならねばならぬ。

ボシバ三千有餘のダイヤ掘りは、茲に一時四散の運命に達着した。この關、渦巻から流れ出て、俺は又タヤバ市に戻つた。それは大正十四年五月廿日だ。

又タヤバ町に

舞戻つた俺は、早速お馴染のサンタカーザを訪ふて見た、僅か七八ヶ月の間に俺の知人は二人と居なかつた。

唯一人、門衛のアントニオ爺さんが、ショボくした眼つきで俺の顔を見知つて居てくれた。

ショボくしたあの眼、それが俺が何の愛嬌あらを...だが俺に

その歳の六月下旬からノロエス線那州人植民地の彼方此方を、ヨロくと酔拂つて呑み歩き、放浪な太閤様の俺を、皆は知つて居た。

放浪の旅、何處へ俺は行くんだらうか、俺にも解らない。(了)

鍛冶

北西線プロミツン町

木本改造

鐵、刈鎌、其他刃物一切

機械類修繕

珍らしい 立派な殖民

アリアンサへ
ラブラタ丸で來航のアリアンサ
殖民地入殖者が、九十餘名、去る
卅日の朝バウル驛に着いたが、午
后一時發ノロエステ線汽車の連結
ワゴンに乗つて、リンス驛まで出
發した。

彼等殖民者の一行は、是迄に嘗
つて見ない、所謂智識階級の人々
で、容貌、色合ほとんど上品な方
々で、眼の光りも人間性に満ちた
希望が燃ゆる居り、服装もややくさ
な殖民地式な伯人の眼を驚かした
殊に女性の美に到つては、日本帝
國の粹を現はして、獸のやうな外
人の性を恍惚たらしむるものがあ
つた。あの白魚のやうな指でエン
シャード仕事は、生活とは云へ古
くから居る日本人の心をいたまし
めてた。

ソロカバナ

地帯の薄霜

先來變調な陽氣の性が回復した
のだらうか、先週來ソロカバナ線
地帯には毎朝薄霜が降り、棉ふく
畑の秋を霜々とさせてゐる。カフ
エーには餘り害を與へてゐないが
不景氣に沈む人々の心と身を一層
寒からせて居る由。

イグアツへにも

不景氣の風

イグアツ地方の經濟界は米の
上出來秋で他線より多少賑か、暖
かさを憶はせるだらうとはノロエ
ステ方面の人々の想像で、實際は
矢張り非常な不景氣に見舞はれて
る由、レヂストロ植民地の馬場留
四郎氏は、該地方での穀物大仲買
者であるは周知のところだつたの
に、先週はトウ／＼百八十コント
スの支拂停止をやりゴタつてゐ
るとか、笹原健次氏死亡の折など
イグアツへ海興事務所では金庫に
二百ミルの現金がなく、イグアツ
へ市より醫師を檢死に呼ぶにも一

寸大まごつきをやつた位現金の不
足状態にあつたとか、一般不景氣
推して知るべしでせうと該地より
通つた人の噂。

バラマンサの

チフス豫防注射

プロミツソン驛を中心とする殖
民地の中で、一番衛生思想の徹底
せるバラマンサ區ではチフス豫防
注射の必要を認め去る二十七日松
谷醫師、鈴木季造、齊藤政一の諸
氏を聘し、衛生に關する講演あり
し後一般注射にうつりしに一人の
欠員もなく出席し注射を受けた。
由、松谷醫師も満足であつたと。

演藝大會

ボンスセツソ青年會
不景氣がドン／＼深く落ちこ
んで來る今日此頃、余りに憂鬱な殖
民者の爲めに少しも晴れやかな
氣分に導いてやらないと云ふ意味
で、去る二十四日サンジョの祭
日を期とし、プロミツソン驛第二
ボンスセツソ青年會にては演藝大
會を思ひ立ち飛入勝手次第で夜の
更なるも忘れ盛會を極めた。

卅二コントス

現金を失ふ

去る六月卅日、ノロエステ線バ
ウル驛着の汽車中で一伯人が三十
二コントスの現金を紛失させた由
不景氣の折柄、驛では人々の耳を
そばたせられた。

バウルに出來た

立呑みカフェ店

即坐立ののカフェ立呑み店が
バウル市にも出來た。
パチスタ街のお菓子屋さん、ジ
エゼ、フランコ君が、目新しいし
流行の先鞭をつけて、先來開店し
てゐるが、一度四腕のマキナが一
臺しか据はつてゐないのでお客様
が待ち遠しがつてゐる、三四台据
へて今少し驛に近い處だつたらと
噂だ。

物騒なゴンザガ地方

馬盗人で銃聲

ノロエステ線プロミツソン驛ゴ
ンザガ地方にては昨今二人組の馬
泥捲入り、殖民者は非常に惱ま
れてゐる、過日も水上東方の馬二
頭を暗夜に奪つて逃げし何れへか
逃走せるものなるが、又去月下旬
の暗夜十二時頃、伊福某氏方のバ
スト附近を徘徊する二人の黒奴奴
るより、氏は馬泥捲と推察し直ち
に家に入り、カラビナを發した
れば賊は一物をも得ず何方へか逃
亡せりと。

本島義勇君の死

第一回笠戸丸での來伯者、本島
義勇君は、ソロカバナ線セ、セザ
ール驛奥で棉作をやり、一昨年頃
は多少芽が出てゐた處、昨年オリ
ニオス驛奥に移動以來病氣にか、
り、本年四月又セ、セザール驛
へ戻り療養し居たも、病勢衰へ
ず、去る六月三日アパレ市サンタ
カーズにて傍なく不歸の客とな
りました由、遺族は彼の友人、
藏本氏が何かと面會して居らると

聯合青年大運動會が

プロミツソン驛で
プロミツソン聯合青年會對聖市
青年團の陸上競技會も、高岡ドク
トルの盡力により、九月上旬の伯
國獨立紀念日を利用して、聖市ミ
カド運動場に於て華々しき肉薄戦
が演ぜられることとなりしため、其
の豫習運動會が八月上旬ボンスセ
ツ運動場に於て、開催すること決
定せるにつき、同會役員は臨時協
議會を開き、競技方法に關し種々
講究中なりと。

日本人の輕業師

▽リオ市に△
先週來よりリオ市の演藝界に二
人の日本人の輕業師が現はれてゐ
る、二人とも足輕業だが、意外の人氣
をそつてゐる由

瀨木商店主又來伯

聖市の瀨木商店主四十逸氏は一
昨年より歸國中の處、今度神奈川
丸で又悉く來伯された由

スリ鉢來る

驚く程の値
日本の文化生活の爲めの一品で
あつたスリ鉢が瀨木商店に來てる
大一個二十二ミル小十五ミルと
か、金一升土一升を思はせる値だ

人事往來

●星名翁の出府
去る廿七日夜、ソロカバナ線より
來芭、廿八日朝、バウルスタ線に
て出聖、今度はサントス港より海
路リオ市へ向はる、由、田付大使
へ救済資金の御禮券々何かと協議
の爲めの出府。
●上塚山根兩氏の出府
去る廿七日夕、ノロエステ線リン
スより來芭、同夜バウルスタ線に
て出聖、廿九日廿日頃までには
リオ市へ至り田付大使へ救済資
資金のお禮券々、何かと協議の爲
めの出府。
●伊藤敬三氏の旅行
バウル郊外に棉栽培中の同氏は、
去る卅日、輪湖俊午郎氏等と同車
にて、アリアンサ殖民地視察にと
ノロエステ線へ
●間崎三三氏の出府
去る廿九日夜バウルスタ線にてリ
オ市へ、上塚氏等と大使館へ

前 驛 ル ウ バ
館 旅 本 日
平 心 山 沖

前 驛 ル ウ バ
館 旅 尾 澤
七 磯 尾 澤

Segur
良品廉價は弊店の信條
必需品値段表
Jockey Club 1000本 33\$000
Sonia 28\$
Liberty 24\$
Castellões 11\$
Castellões (美麗なる鐘入) 1キロ 12\$
並品 7\$
エンシャード (2Faces) 印 No2 485
全 2.5 5\$
全 3 5\$5
ピストルの弾 50發入 箱 12\$
バシア 1\$500より 24\$000まで
ベネーラ 2\$000 5\$000
バルデ 1\$500 4\$800
ビーニョポルト 1本 7\$
シンザーノ 8\$
フェルネツテブランコ 12\$
ビーニョキアンチ 3\$
麥粉最上品 40\$
パンニヤ 2キロ入 7\$4
瀨木商店
バウル支店
RUA BAPTISTA 1-38 BAURÚ

CASA TOKIO
Automovel
自動車は御通知次第
直に驛上致しす。
ボテキ
伊藤元登
ノロエステ線
プロミツソン驛函一〇三

Restaurant YANAGUI
柳木料理店
柳木實太郎
御望みにより汽車内へ御携帶結構の
「おへんとう」も差出し、
尚酒肴、水菓子の色々をも調ひて居ります。

PHOTOGRAPHIA
肖像繪及寫真師
名越寫真館
お求めに應じます
アパレ市
名越政夫

農業のブラジル
毎月一回十五日發行
定價
一部 二ミル五百レリス
一ケ年 三十ミルレリス
聖市コンデ、サルゼーダス街廿三
農事通信社

開業七週年紀念賣出し
中矢商店
K. NAKAYA
R. C. Sarzedas 13
S. Paulo



女忠臣藏 (四十)

著る 瑞園

Main text of the story '女忠臣藏', starting with '五右衛門が三歩五歩行かけた' and continuing with dialogue and narrative.

Continuation of the story text, including dialogue and narrative elements.

Continuation of the story text, including dialogue and narrative elements.

Advertisements for various businesses including 'K. Yamane Armazem', 'Alfaiataria Yabe', 'Hotel d'Oeste', 'Dr. Jeyme Halfeld', 'Marcenaria Japoneza', 'THE YOKOHAMA SPECIE BANK LTD.', and '木商店'.

Advertisement for '郷里送金' (Remittance from Hometown) by '横濱正金銀行支店' (Yokohama Specie Bank Branch), detailing remittance procedures and interest rates.